

ふじみ議会だより

過疎化・有害鳥獣に対する町の対策は

小池一夫 議員



問 各集落には自慢をしたい文化財や景勝地、伝統行事などがあるが、これらを整備保存し地域活性化に役立てる考えは。

答：町長 集落の主体性を側面から支援することが必要。集落自らが主体となり、地域を守ることが大事だ。

問 富士見交番の新築に伴う交通安全協会事務所の新設場所と、町の支援について。

答：矢嶋民雄町長 茅野署より新築交番には交通安全協会事務所を併設するスペースが無いという説明を受けており、憂慮しているが、事務所設置に関して、町としては全面的に

問：小池一夫議員
過疎・高齢化が進む現状に対する認識と支援策は。

答：矢嶋民雄町長

若者が転出し、集落機能の維持が困難になることが予想される。働く場所の確保・安心して子育てのできる施策を重点としたい。

問 有害鳥獣の被害の状況と、対策に対する実績は。また今後の対策は。

答：町長

昨年度の被害実態は届出件数48件。被害金額668万円。対策費574万円。鹿55頭、猿19匹、イノシシ13匹を捕獲した。同様な対策を継続する。

問

電線と電柱に景観を阻害されたパノラマスキー場の今後も検討していく。



県境に位置する下鳶木地区

交通安全協会の移転について

名取末吉 議員



問 支援するつもりでいる。

答：矢嶋民雄町長

今まで併設により署員との情報交換などの連携が取れていたが、今後、連携不足によって町民に迷惑がかかる恐れがあるので。

答：町長

町では利便性も考慮して

設置場所を選定しているが、あくまでも茅野署では別な場所への設置との意向であり、その懸念があるような

大阿原湿原に関しては、国有林との兼ね合いもあるので、入笠山期成同盟会と連携をとりながら進めていただきたい。

笠原の保全策と、行政が貴重な動植物を有する人

問



建て替えが予定されている富士見交番